

「小中合同行事について」

今日は私立高校の受験の日です。9年生の多くがこれから高校入試テストを受けます。精一杯自分の力を発揮してほしいと思います。先週水曜日には1年生と6年生から9年生に応援のお守りをプレゼントする「一步前集会」が行われました。受け取った9年生の様子は照れながらもとても嬉しそうでした。1年生と6年生の皆さん、本当にありがとうございました。きっと今日はそのお守りをもってテストを頑張ってくれるでしょう。又、1月31日には8年生による3・4年生への「絵本の読み聞かせ」がありました。8年生の皆さんこちらも楽しい時間をありがとうございました。2月21日には中学7・8年生の「ダンス発表会」に小学生が見学に来ると聞いています。7・8年生の皆さん、ダンスを見て、小学生が「自分もあんなダンスが踊りたいな」と思ってくれるようダンスを期待しますね。

12月に児童生徒アンケートをとりました。その中「自分には良いところがあると思いますか?」という自己肯定感を問う質問がありました。なんと、みなさんの85%が「そう思う」と答えてくれました。校長先生はとてもうれしかったです。実は日本の国はこの自己肯定感が世界中の国の中でとても低い国なのです。日本の国全体の平均では50%前後です。にもかかわらず、いまみや小中一貫校のこれだけ高い数字になる理由の1つが先ほどのお伝えした「一步前集会」・「絵本の読み聞かせ」・「ダンス発表会」等の小中合同行事にあると思います。自己肯定感というのは他人に認められて伸びていくといわれています。皆さんもお友達や先生・親から褒められるうれしいと思います。同じように中学生は小学生から憧れをうけたり、小学生は中学生から優しくされれば、うれしいですし、自然と自己肯定感は上がります。

小中合同行事をこれからも皆さんで大切にしてください。

これで校長先生のお話を終わります。